

横浜の職人カタログ

まじゅつし
インクの魔術師
いんさつしょくにん
スクリーン印刷職人



よこはましぎのうぶんかいかん
横浜市技能文化会館



いん さつ し ょ く に ん
スクリーン印刷職人って
どんなしごとなんですか？

わく は めの かた つく はん めの あみめ ちい
枠に張った布で型を作り(版といいます)、その布の網目の小さ
あな な穴からインクを通して紙や布に印刷する技術です。

せいしき いんさつ な とお きぬ はん
正式にはシルクスクリーン印刷といい、その名の通りシルク(絹)を版
ざいりよう ぎじゆつ しんぽ こま
の材料にしていました。しかし技術の進歩によりシルクのかわりに細
かいポリエステルあみ は かの網を張ったものになっています。

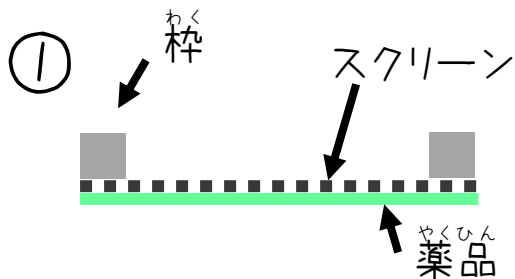
みず くうきいがい すべ いんさつ い
「水と空気以外なら全て印刷できる」と言われるほど、いろいろな
いんさつ ぎじゆつ つか
ものに印刷ができます。そのため、この技術はたくさんのもに使
われています。紙や布かみ めのはもちろん、テレビのロゴマークやパソコンの
きばん
基盤、スマートフォンのアンテナにまでスクリーン印刷いんさつ わざ みの技を見ることが
ができます。

むかし すべ てさぎよう いんさつ さいきん きかい つか
昔は全て手作業で印刷していましたが、最近さいきんは機械きかいを使うことも
おお
多くなってきました。しかし手作業てさぎようの仕ごとしごとがなくなったわけでは
ありません。ひと て
人ひとの手でなくてはできない
いんさつぎじゆつ
印刷技術もまだまだあるのです。

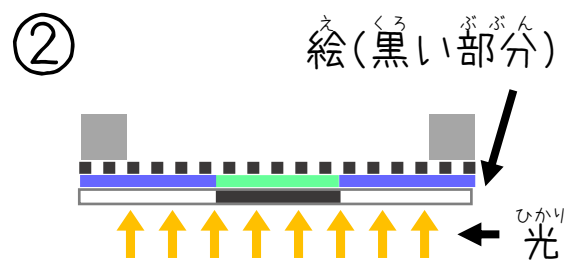


いんさつ わざ スクリーン印刷の技その1

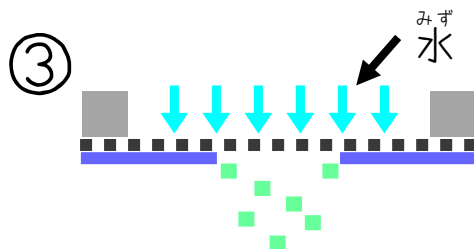
☆スクリーン印刷のしくみ



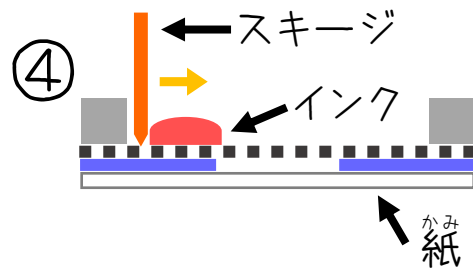
こま 細かい穴のあいたスクリーンに、光をあかたると固まる特殊なやくひん薬品をぬる。



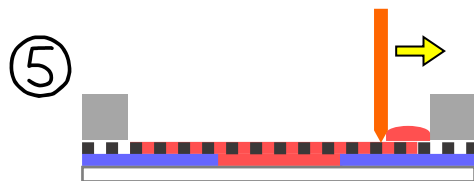
いんさつ 印刷したい絵をおき、そのしたからつよひかり強い光をあててやくひん薬品を固める。



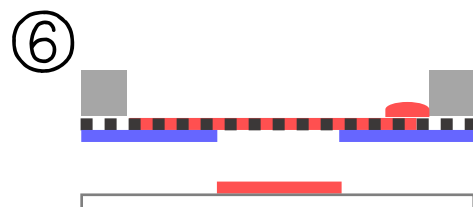
みず 水であらう。固まらなかったえ 絵の部分が洗いながされる。



インクをのせ、スキージというへらで平らにのばす。



あら なが洗い流されたあな穴にいんくインクが入る。



かみ はず紙を外すといんさつ印刷がされている。

いんさつ わざ スクリーン印刷の技その2

てさぎょう いんさつ ばあい
手作業でたくさん印刷する場合、ひとつひとつ
おな いんさつ
がまったく同じように印刷されなければなりません。
じぶん きかい い
そこで「自分が機械になる」と言われるように、
せいかく うご ひつよう たいへんこんき
正確な動きが必要となります。大変根気のいるし
ごとです。

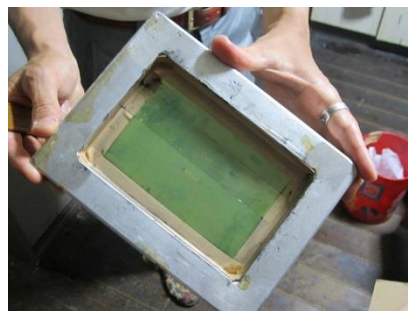
いんさつ わざ
しかし、スクリーン印刷の技のすごいところはそ
れだけではありません。なんしゅるい
何種類もあるインクをま
いらいにんのぞいろだ たいへんちしき
ぜ、依頼人の望む色を出すのに大変な知識が
ひつよう さき
必要になります。「つまようじの先にちょっとつけた
いろ びみょういろあだ
色をまぜる」といったような微妙な色合いを出す
ぎじゆつ いんさつちゅうかた
技術をもっています。また、印刷中もインクの固まり
ぐあい かん て ちから ちょうせつ
り具合を感じながら手の力を調節します。

じゆう あやつ
まさにインクを自由に操る
まじゆつし
魔術師です。

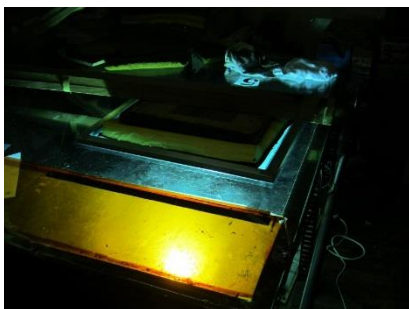


いんさつ どうぐ スクリーン印刷の道具

スクリーン印刷技術の機械化によって、いろいろな最新技術が
使われた機械が作り出されています。しかし、手作業で行う印刷
の場合は、職人が工夫して作った道具が使われています。



↑ 特殊な薬品をぬった版。大きさはいろいろです ↑



↑ 強力な光をあてるライト



↑ スキージ



↑ 版を固定する機械



↑ 乾燥



いんさつ れきし スクリーン印刷の歴史

スクリーン印刷の技術はまだ新しく、100年くらいと言われています。しかし、スクリーン印刷の元となった印刷技術は日本にもあります。それは「捺染型紙」とよばれる技術で、1000年の歴史がある技術です。この「捺染型紙」や西洋の「ステンシル」という印刷方法をもとに考え出されたのがスクリーン印刷と言われています。

そしてスクリーン印刷は商業、工業目的だけでなくアートの世界でも使われることとなります。世界的に有名なアメリカンポップアートの旗手、アンディー・ウォーホルは、シルクスクリーン技法が、インクの色も選べ、発色も良く、さらには多くの作品を量産するのに向いているため多くの作品に使用しました。

そして現在では広告(看板など)やTシャツのプリント、日用品に至るまで広い範囲でスクリーン印刷の技術が利用され、親しまれています。

いんさつ れきし スクリーン印刷の歴史その2

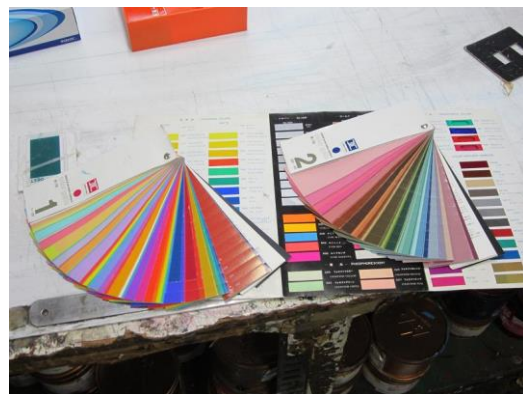
よこはま いんさつ ☆横浜のスクリーン印刷

かいこくとうじ いんさつ ざいりょう
開国当時、シルクスクリーン印刷の材料となるシル
せいひん よこはま あつ よこはまこう しゅっか
ク製品のほとんどが横浜に集められ、横浜港から出荷
されました。また、がいこく あら ぎじゅつ はい
外国の新たな技術が入ってくるのも
よこはまこう にほん かくち よこはま あつ
横浜港からでした。そうして日本各地から横浜に集ま
しよくにん がいこく ぎじゅつ と い ぎじゅつ
った職人たちは外国の技術を取り入れ、その技術を
はってん
発展させていったのです。

なか いんさつぎじゅつ つか
中でもシルクスクリーン印刷技術を使ったスカーフ
よこはま おお さんぎょう
は「横浜スカーフ」といわれるほど大きな産業となりま
した。かつてはこくない やく わり よこはま
国内のメーカーの約9割が横浜にあっ
たといわれています。



↑ たくさんのインクの缶 (かん)



↑ 色 (いろ) の見本 (みほん)

いんさつ みりょく スクリーン印刷の魅力

げんえき しよくにん しごと おもしろ き
現役の職人さんに仕事の面白さを聞きました！

ゆうげんがいしゃ か の う か の う
☆有限会社 加納スクリーン 加納さん

じぶん おも いろ で おも いんさつ
自分の思ったとおりの色が出て、思ったとおりの印刷ができると
とてもうれしいです。それはいろ つく いんさつほうほう
に苦労したものほど面白く感じます。

また、いんさつ すべ こうてい わ いんさつ かん
スクリーン印刷の全ての工程を分かっていると、印刷に関
してのオールラウンドプレイヤーになれます。



ころ しよくば あそ ば
こどもの頃は職場が遊び場
だったという加納さん。こど
ころ いんさつ てつだ
もの頃から印刷のお手伝
いをしていたそうです。

いんさつしょくにん スクリーン印刷職人になるには？

スクリーン印刷を取り扱っている会社に入るのが一番の近道です。最近ではパソコンで版のものの絵を作るので、パソコンの技術が必要となってきました。また、色やデザインのセンスも必要となるので、美術系の学校で学ぶと役に立ちます。

手作業で印刷する職人も、機械で印刷する職人もそれぞれに独自の技術があります。現在もいろいろなものにスクリーン印刷技術が使われているため、今後どちらもなくなるしない職業と言えるでしょう。



☆メモ☆



☆メ毛☆



よこはましぎのうぶんかいかんしていかんりしや
横浜市技能文化会館指定管理者
かぶしきがいしゃあしたば はっこう
株式会社明日葉 発行

〒231-0031 よこはましなかくぼんだいちよう 横浜市中区万代町2-4-7
<https://gibun.jp>

2023年版